

科 目 名	【同窓会寄附講座】森林文化A／森林文化I	授 業 形 態	講義科目
担 当 者	平井 純子、西村 拓郎、田島 哲也	単 位 数	2単位

森を理解し、再生する

1. 授業内容

本授業は、キャンパスの南にある「駿大の里山」での活動を通して、森林の機能について多様な視点から捉え、森林と私たちの関わりを理解することが目的です。特に、森林資源の現状と私たちの関わりを中心に理解していきます。
 飯能市の森の番人や奥武蔵マウンテンバイク友の会などとの協働体験を通して、コミュニケーションの力を培っていきます。
 授業は、隔週で実施します。通常2時間続きます。

2. アクティブ・ラーニングの要素

体験学習／調査学習・フィールドワーク／グループワーク／実習・実技／リアクションペーパー

3. 到達目標

- ① SDG s の理解を通して、考える力を高める。
- ② 森を育成する基本的な作業「手入れ」と初歩的な技術を習得しつつ、行動に移す力を高める。
- ③ 主体的な行動によりコミュニケーション能力や協調性など協働する力を高める。
- ④ 地域での森林環境の理解を通じ、世界の環境問題を具体的に理解することができる。

4. 到達目標となる駿大社会人基礎力/養成する能力要素

④論理的・多面的思考力／⑦主体的行動力／⑩コミュニケーション力／⑫チームワーク力／⑬課題発見力／⑮問題解決力

5. 卒業認定・学位授与方針との関連

全学のディプロマ・ポリシー（5）の総合的な力と関連し、環境問題の具体を理解することで、課題発見能力と問題解決能力を培う。

6. 関連科目

森林文化B/Ⅱ、課題解決プロジェクト/インターンシップⅠ、地域インターンシップ/まちづくり実践等

7. 授業外における学習方法及び必要な時間

自分が住む場所の周囲やふるさとの山や公園などの樹木や植生を観察し手入れや維持の問題を発見する（各2時間）。
 世界的な環境問題についてのニュースなどの情報を収集し、課題を理解する（各2時間）。

8. 成績評価方法

評価方法	評価割合	成績評価基準等
授業への参加度	70%	積極的に知識を得ようとし、主体的に動こうとしているか、評価する。
レポート	30%	到達目標の①～④が実践を通じて理解できているか、評価する。

9. 課題に対するフィードバックの方法

取り組みに対してその都度講評します。

10. 実務経験のある教員による授業科目等

担当教員の実務経験	実践的な教育の取組
林業家（田島）	森林作業の実際的指導（田島）
森林インストラクター（平井、西村）	森林の維持と管理方法、里山の維持、間伐の実践などの実習指導を行う（平井、西村）

授業計画	
第1回	SDG s と森林
第2回	『駿大の里山』とは
第3回	世界の環境問題
第4回	森林作業の道具とその使用法
第5回	世界の森と林業
第6回	森林作業に用いる道具の理解・使用法の習得
第7回	日本の環境問題
第8回	針葉樹と広葉樹
第9回	日本の森と林業
第10回	里山でのトレイルづくり
第11回	日本の森林資源活用の現状
第12回	リスクマネジメント
第13回	日本の森林資源活用の事例
第14回	生業（なりわい）としての林業を考える
第15回	全体の整理

11. テキスト・参考書等

書名	著者	出版社	ISBN	備考
—	—	—	—	指定しない。